

獣医療関係者 各位

ゾエティス・ジャパン株式会社
ライブストックビジネス統括部

インプロバック® 添付文書の改訂に関するご案内

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社製品をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、弊社製品の免疫学的去勢剤『インプロバック』の添付文書につきまして、下記の通り【使用上の注意】を改訂いたしますのでご案内申し上げます。なお、製造及び物流の都合により、当面は従来の添付文書が封入された製品が流通いたします。最新の添付文書は動物用医薬品検査所のホームページに掲載のものをご参照ください。(動物医薬品等データベース URL <https://www.vm.nval.go.jp/>)

本件に関する詳細は、弊社営業担当者までお問い合わせください。

謹白

記

■該当製品

製品名	剤型
インプロバック	100mL

■変更部分(下線部)

変更前	変更後
(基本的事項) 1. 守らなければならないこと (中略) (使用者に対する注意) ・人に使用しないこと。 ・誤って人に注射した場合、激しい痛みや腫れを引き起こすことがある。 医師に対する情報: 誤って人に注射した場合、注射した量がたとえ少量でも、虚血性壊死につながるおそれのある激しい腫れを起こすことがある。特に指先の内側や腱への誤注射の場合、早期の注射部位切開や洗浄等の外科的処置を検討すること。 ・本剤を投与する際は、誤って人に注射したり、(中略)	(基本的事項) 1. 守らなければならないこと (中略) (使用者に対する注意) ・人に使用しないこと。 ・誤って人に注射した場合、激しい痛みや腫れを引き起こすことがある。 医師に対する情報: 誤って人に注射した場合、注射した量がたとえ少量でも、虚血性壊死につながるおそれのある激しい腫れを起こすことがある。特に指先の内側や腱への誤注射の場合、早期の注射部位の切開及び洗浄等の外科的処置を検討すること。 ・本剤を投与する際は、誤って人に注射したり、(中略)
(専門的事項) (中略) ②副作用 ・本剤投与後、一過性の元気消失、食欲不振及び体温上昇が認められることがある。 ・本剤投与後、投与部位に腫脹あるいは硬結が発現することがある。腫脹及び硬結は数週間持続することがある。 (以下略)	(専門的事項) (中略) ②副作用 ・ <u>本剤投与後、アナフィラキシー様反応(流涎、嘔吐、呼吸困難、チアノーゼ、横臥、痙攣、運動失調等)がみられることがあるので、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。</u> ・本剤投与後、一過性の元気消失、食欲不振及び体温上昇が認められることがある。 ・本剤投与後、投与部位に腫脹あるいは硬結が発現することがある。腫脹及び硬結は数週間持続することがある。 (以下略)

以上